

【R7年～10年における学校部活動】士別市 中学生のスポーツ・文化活動地域展開 推進ガイドライン R7年8月現在

I 基本目標・基本方針

目標	生徒が多様なスポーツ・文化活動に参加できる機会の確保
基本方針	<p>・方針1 連携から展開へ R8年度から、可能な種目において、休日の部活動の地域展開を進めます</p> <p>・方針2 部活動のよさを生かした地域展開 ①地域、学校、行政が一体となって地域展開を推し進めます ②部活動としての維持が難しい種目は「地域クラブ」(仮)と位置付け、部活動に準じたサポートを受けられるようにします</p> <p>・方針3 情報発信と連携 士別市の「地域展開」についての理解を促進し、双方向の連携を進めます</p>

II 令和7年現在の士別市における学校部活動の状況

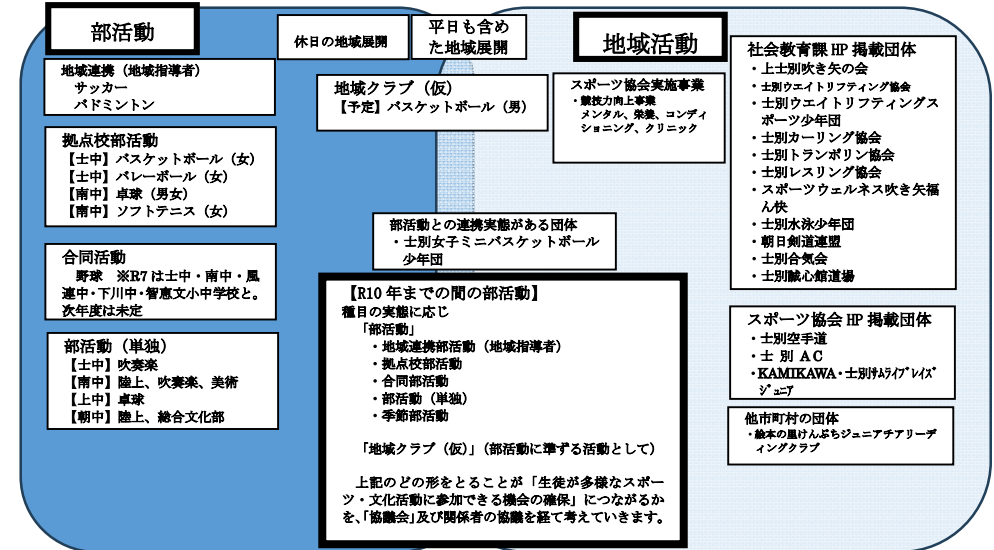
士別市内中学校の部活動と指導者の状況 ※必ずしもこの表通りに部活動を設置できるわけではありません。

●は現在の「顧問の在職年度」と「生徒数」を鑑みた存続可能期限 ○は地域指導者がメインで指導をしている部活

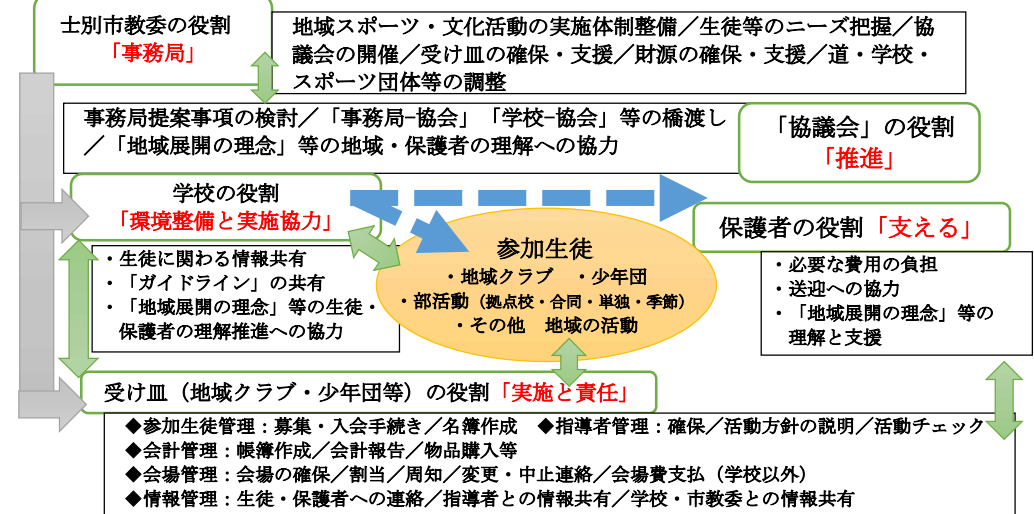
	R7年度(2025年度)	R8年度(2026)	R9年度(2027)	R10年度(2028)	R11年度(2029)
	改革推進期間	改革実行期間(前期)	R10年3月 指導要領告示予定)	改革実行期間(後期)	
地域連携(地域指導者)	サフォークランド士別サッカークラブ	課題: 広域で生徒を受け入れている中で主たる「学校-地域」の連携の在り方 等			○
	バドミントン	課題: 希望する生徒のより広い受け入れへのための指導者確保、場所の確保 等			○
拠点校	【土中】バスケットボール(男)	→●R7中体連後の顧問不在 →保護者を中心に「クラブ化」に向けて準備開始。			
部活動	【土中】バスケットボール(女)	課題: 土別中と合同先の和寒中の顧問の異動年数が同年。 →●			
□は拠点となる学校	※和寒と合同で大会参加	→●			
	【土中】バレーボール(女)	→●			
	【南中】卓球(男女)	課題: すでに指導のメインは地域なため、地域で運営できる仕組み作りが必要。			○
	【南中】ソフトテニス(女)	課題: 「クラブ化」することで近隣市町村の生徒を受け入れる可能性について市教委に相談あり。			●
合同	野球 ※R7は土中・南中・風連中・下川中・智恵文小中学校と	課題: 「サムライブレイズ」との棲み分け。			●
部活動(単独)	土中 吹奏楽	→●			
	南中 陸上	→●			
	吹奏楽	→●			
	美術	→●			
	上中 卓球	→●			
	朝中 陸上	→●			
	総合文化部	→●			
季節部活動	スキー、柔道、剣道、水泳、陸上(土中)	→●			

※呼称は異なる

III 令和7年～10年(推進期間・前期実行期間)の間に目指す姿(案)



IV 地域スポーツ・文化活動の地域展開に向けた準備体制



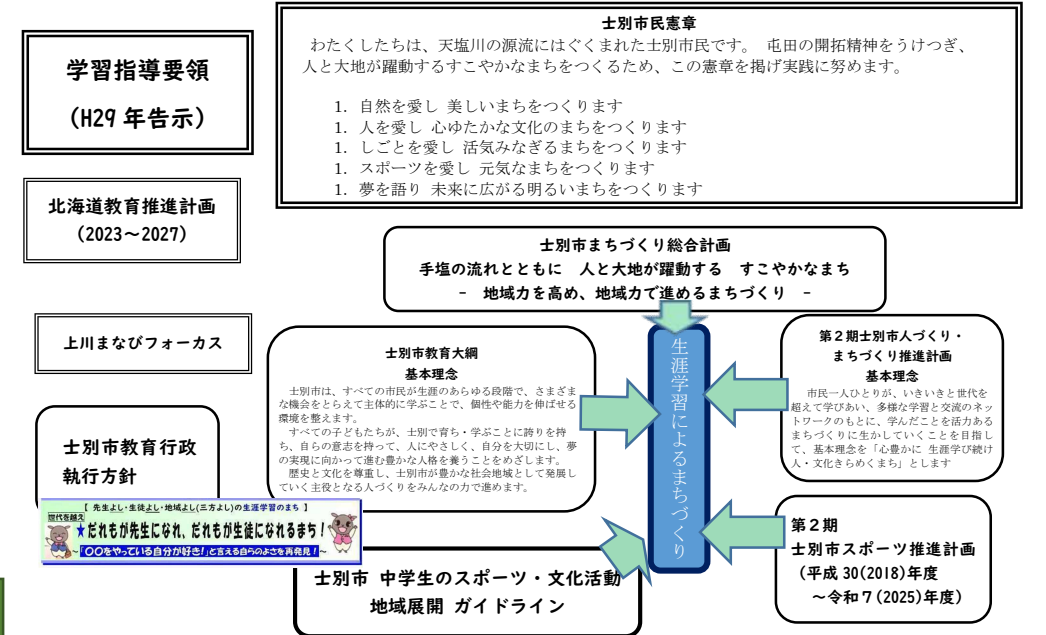
V 具体的な体制整備

指導者・受け皿の確保	環境の充実	地域展開 に関わる発信
<ul style="list-style-type: none">受け皿となる 地域クラブの立ち上げ支援指導者の確保、派遣、管理 <p>↓</p> <p>事務手続き等の補助 団体の認可・連携・調整 人材バンクの運用 指導者募集及びマッチング</p>	<ul style="list-style-type: none">学校施設や備品の利用公的施設の利用と条件の整理活動に関わる支援 <p>↓</p> <p>活動場所調整・優先利用 財政確保（市の補助等） 備品利用条件整備</p>	<ul style="list-style-type: none">協議内容等を広く発信双方向の連携を推進 <p>↓</p> <p>ホームページ等での情報発信 周知内容を踏まえた各団体との協議</p>

VI 現状・背景（国の方針、市の現状、課題）

少子化	教員業務の役割分担
<ul style="list-style-type: none">R7 年 317 名の市内中学生が R13 年には 257 名に（20%減の見込み）進学する中学校によっては希望する部活動がない（約 15%が部活も学校以外の活動もしていない） <p>→多様なニーズへの対応が困難</p>	<ul style="list-style-type: none">教員数が減少し、子どものニーズに応じた設置が困難顧問の約 7 割が競技・活動経験のない部活動を担当 <p>→教員のみでの部活動運営が困難</p>
スポーツ庁・文化庁の方向性	教育的意義(自主・自発的活動)
<ul style="list-style-type: none">休日の部活動から段階的に地域に展開していくこと地域のスポーツ団体等と学校との連携、協働の推進を行うこと <p>→部活動の教育的意義を継承発展させ、新しい価値を創出</p>	<p>学習指導要領 総則</p> <ul style="list-style-type: none">体力や技能の向上好ましい人間関係の構築学習意欲の向上自己肯定感、責任感、連帯感の涵養 <p>→学校教育の一環として、教育課程との関連が図られている</p>

VII 「学習指導要領」等及び本市の各種計画との関連



VIII 令和 7 年度のスケジュール

	R7 (2025) 7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R8 (2026) 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
方針 1 連携から 展開へ	第 3 回 協議会… ガイドライン（案 検討①）	第 4 回 協議会… ガイドライン（案 検討②）	R8 年度部活動設置見 込みの聞き取り 設置見込みを受けた関 係団体との協議		第 5 回 協議会… 予算 要求に向けて	【R8 年度の設置部 活動および準ずる活 動についての説明】 ◆種類 ① 各学校のみ ② 土中、南中のみ ③ 学校縛りなし 2. 準ずる活動 ◆入部の流れ ◆活動の見通し ・指導者 ・活動予定 （日常、大会等） ・活動場所 ・費用		第 6 回 協議会… 年度 の取組評価と次年度見 込			
方針 2 一体とな った展開			【「部活動に準ずる活動」について ・「位置づけ」の設定 ・「施設利用」の検討 （利用調整、ルール設定等） ・「指導者」の検討 （地域指導者、兼職兼業の仕組み等）								
方針 3 情報発信											
具 体 的 な 展 開	男子バスケット部員による指導体制終了	3 年生引退 →新チームへ	地域指導者による指導開始	ガイドライン 発信							
行政			第 3 回定例会			第 4 回定例会 （R8 予算要求）	予算示 国への 事業申請				